

小松空港中期ビジョン策定検討委員会 (第5回)

令和6年7月24日

石川県 企画振興部 交通総合対策監室
空港企画課



1. 小松空港の第二滑走路に係る経緯

1-1. 小松空港 第二滑走路に関する基礎調査の実施(令和4年度)



○県において、小松空港の将来需要予測や、第二滑走路を整備した場合の空港施設の配置案、概算事業費などについて基礎的な調査を実施。(R4.10月～R5.3月)

将来需要予測

【現状】

国内線→ H30年度：158万人

国際線→ H30年度：24万人

【将来予測 (R32年度 [2050年])】

国内線 166万人 人口減少の影響を受けるもののインバウンド増による成田便の増便等により、若干増

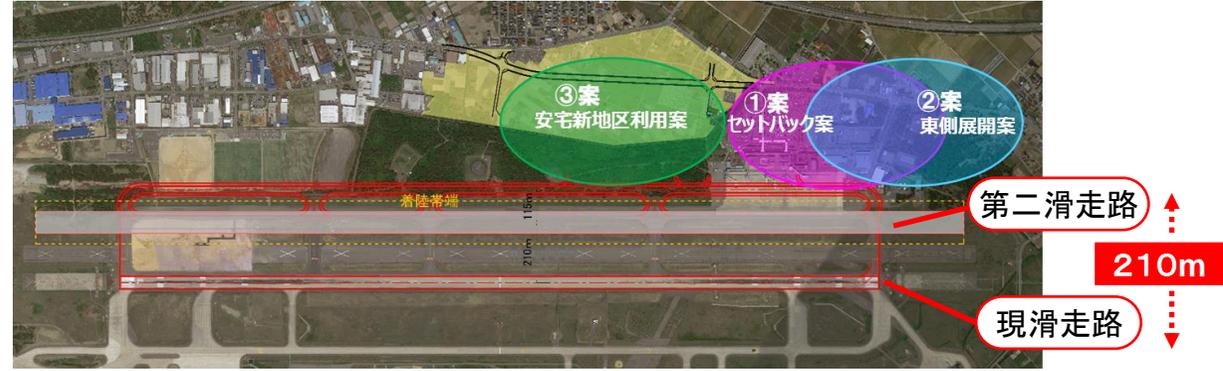
国際線 61万人 (約3倍) 定期便が増便
タイ路線が新たに開設

⇒R32年度の発着回数
(年間) 約21,000回

※最大：H25年度 約18,000回

空港施設配置案

【滑走路間隔 210m の第二滑走路案を基に、施設配置案 3案を設定】



	①案 (セットバック案)	②案 (東側展開案)	③案 (安宅新地区利用案)
工事期間	約7年	約7年	約6年
概算事業費※	約360億円	約370億円	約370億円

※第二滑走路や平行誘導路等の整備に係る費用を含む。
※旅客ターミナルビルの建設、防衛省施設(無線施設等)の移転に係る費用は含まない。

- 調査の結果、国際線の大幅な増加など、将来の航空需要の高まりが見込まれることが明らかになった。
- 加えて、第二滑走路を整備する場合の施設配置や工事期間、事業費、課題などについて整理した。

⇒ 前回委員会において、委員から、自衛隊との共用空港である小松空港については、防衛上の観点から第二滑走路の必要性を示してもらおうべき、などといったご意見を頂いたことを踏まえ、**改めて国に対して要望を実施。**

1-2. 小松空港 第二滑走路に関する国への要望等について(令和5年度)



○第4回検討委員会の議論を受け、国において必要性に関する調査を実施し、方針を示していただくことが不可欠であることから、昨年5月以降、当時の浜田防衛大臣をはじめ、防衛省・国土交通省・財務省の3省に対して、要望を実施。

■令和5年5月

西田国土交通大臣政務官



宮本財務大臣政務官



■令和5年6月

浜田防衛大臣



■令和5年8月

蔵持国土交通省航空局
航空ネットワーク部長



宇波財務省官房長



○昨年12月、令和6年度の政府予算案において、小松基地の強靱化のため、えん体(戦闘機を守るための格納庫)等の整備にかかる予算が盛り込まれたことを受け、木原防衛大臣を訪問し、県が検討した滑走路の配置案への影響の有無について確認。

防衛省 [木原稔 防衛大臣]

- 県が第二滑走路に想定している西側の防衛省用地の取り扱いが大きな課題となる
- 防衛省として、現時点として、えん体等の整備のため、新たな用地を取得することは考えていない



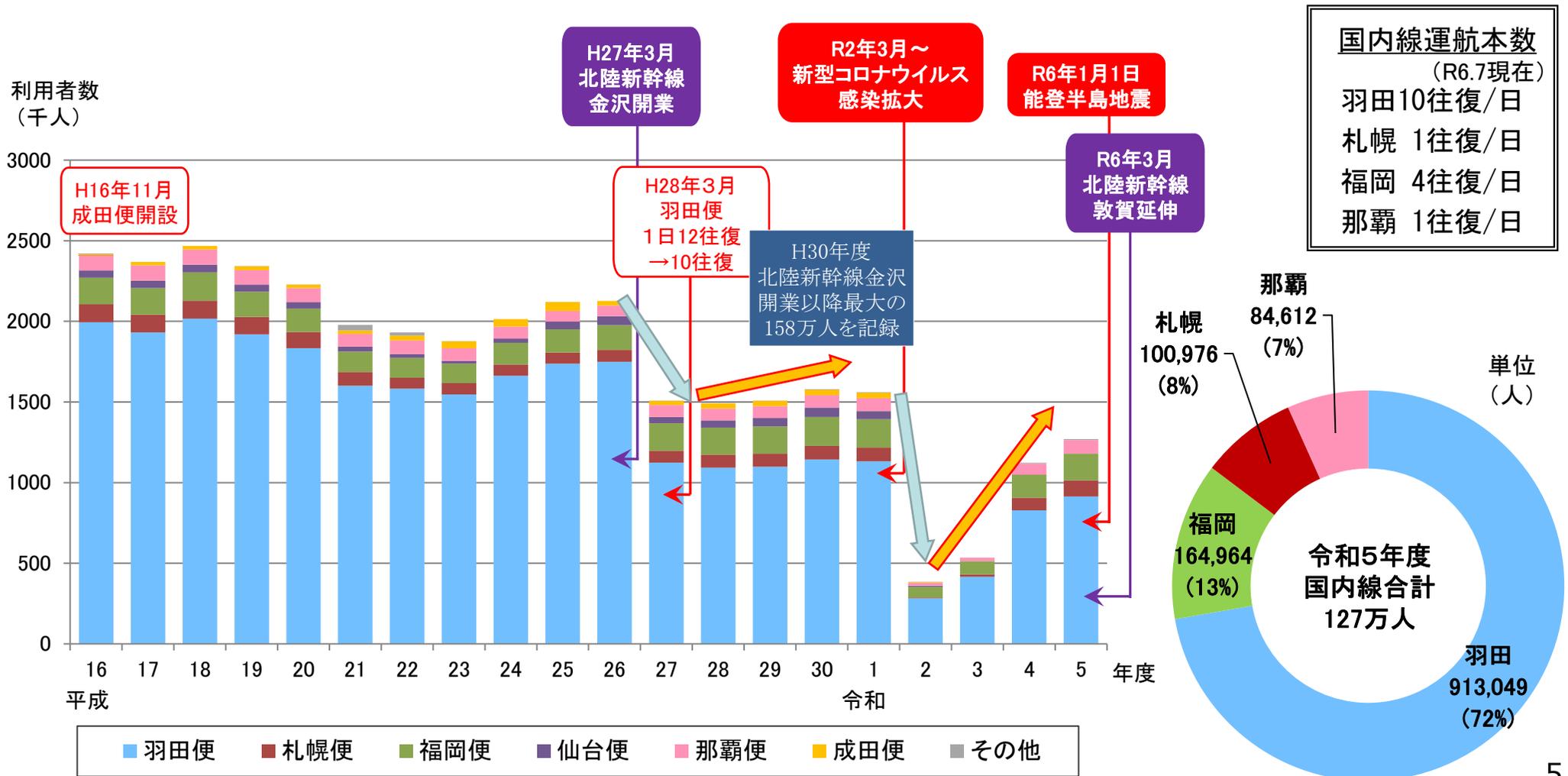
上記の経緯を踏まえ、令和6年3月の知事会見において、**第二滑走路の検討はいったん中断せざるを得ない旨を表明**

2. 最近の小松空港の情勢

2-1. 国内線利用実績



- 北陸新幹線金沢開業に伴い、羽田便は平成27年度に12便から10便体制となり、国内線利用者数は対前年約3割減少したが、平成28年度以降は増加に転じ、平成30年度には北陸新幹線金沢開業以降最大の利用者数約158万人となった。
- 令和2年3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により、各路線で減便運休が相次ぎ、令和2年度の利用者数は38万人と昭和51年以来の40万人を切る大変厳しい状況であったが、令和4年度は約112万人、令和5年度はさらに増加の約127万人となり、コロナ前(R1)に対しても8割以上の利用者数となっている。

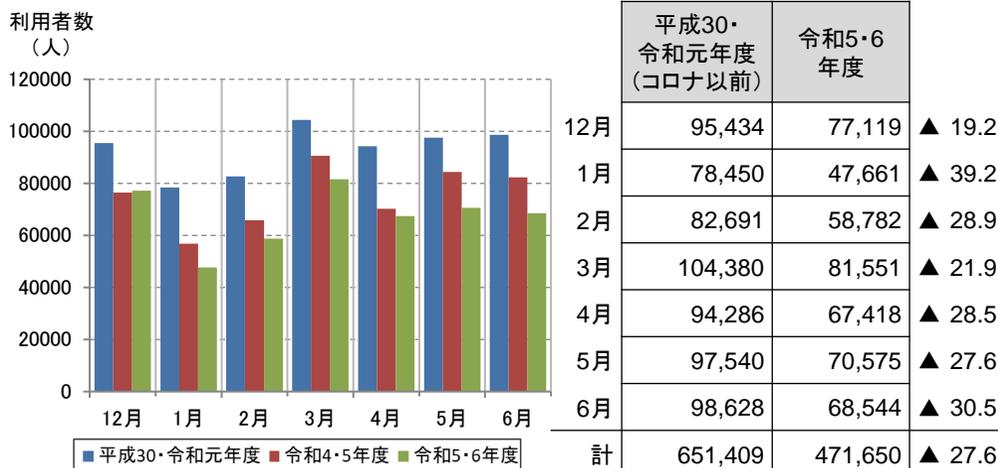


2-2. 国内線利用実績(月別比較)

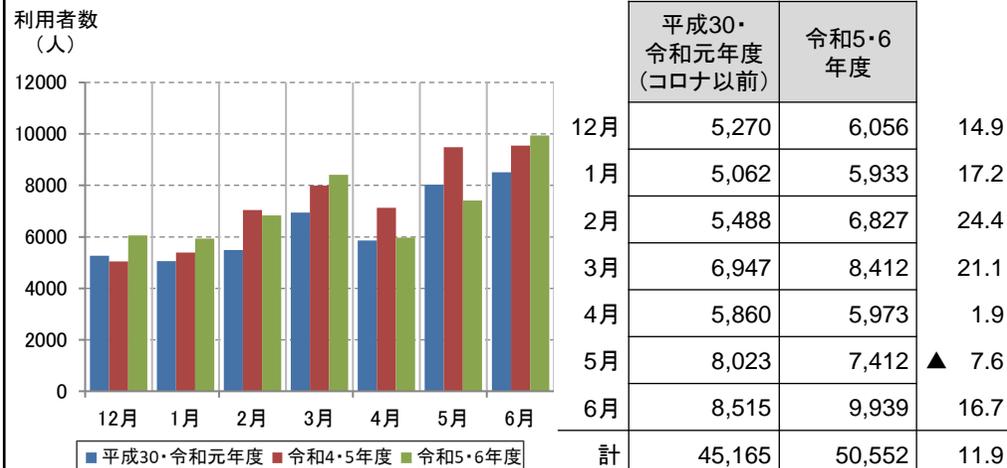


○直近7カ月(12~6月)の利用者数について、新型コロナの影響がなかった平成30年12月からの数値と比較すると、札幌、那覇便はコロナ以前を上回り、福岡便はコロナ以前と同等の数値まで回復している一方で、羽田便については、約73%にとどまっている。

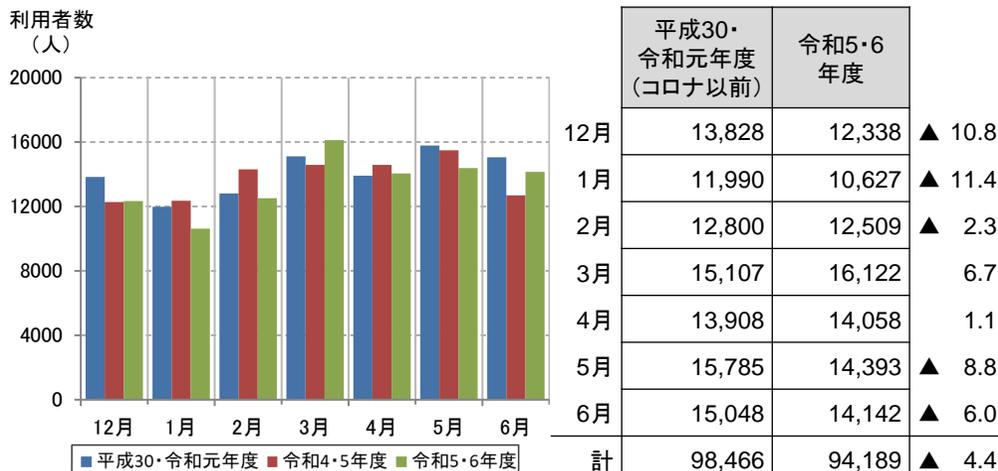
羽田便(10往復/日)



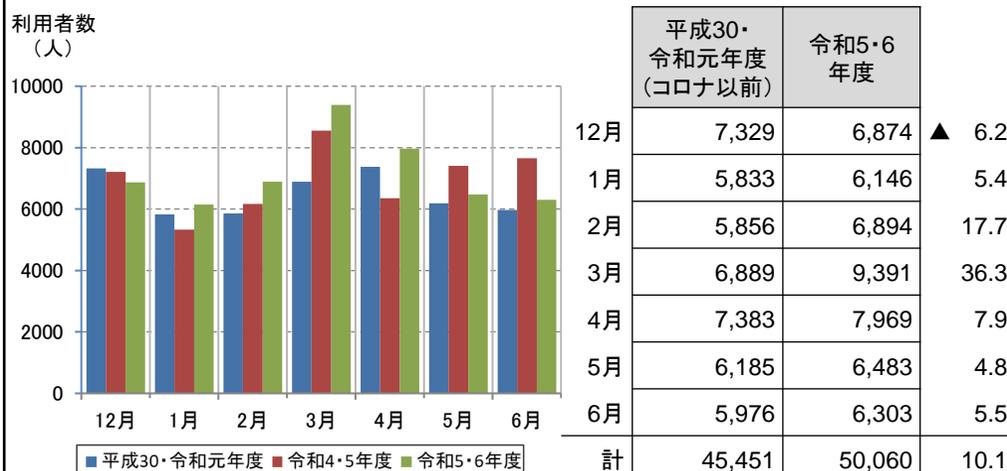
札幌便(1往復/日)



福岡便(4往復/日)



那覇便(1往復/日)

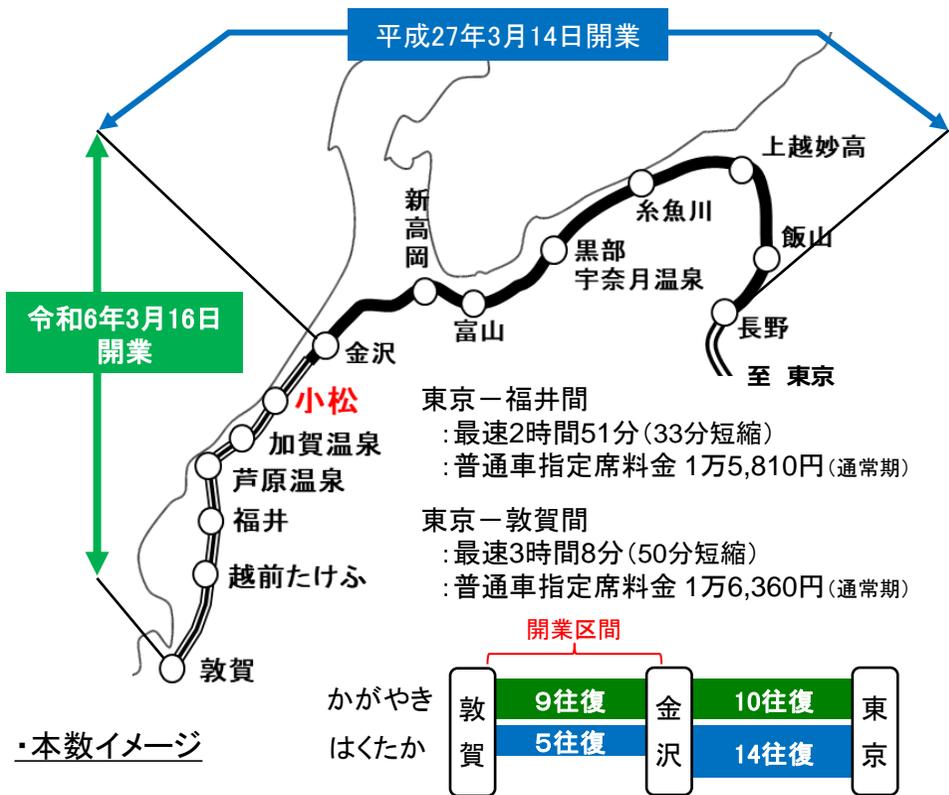


2-3. 北陸新幹線敦賀延伸後の羽田便利用状況

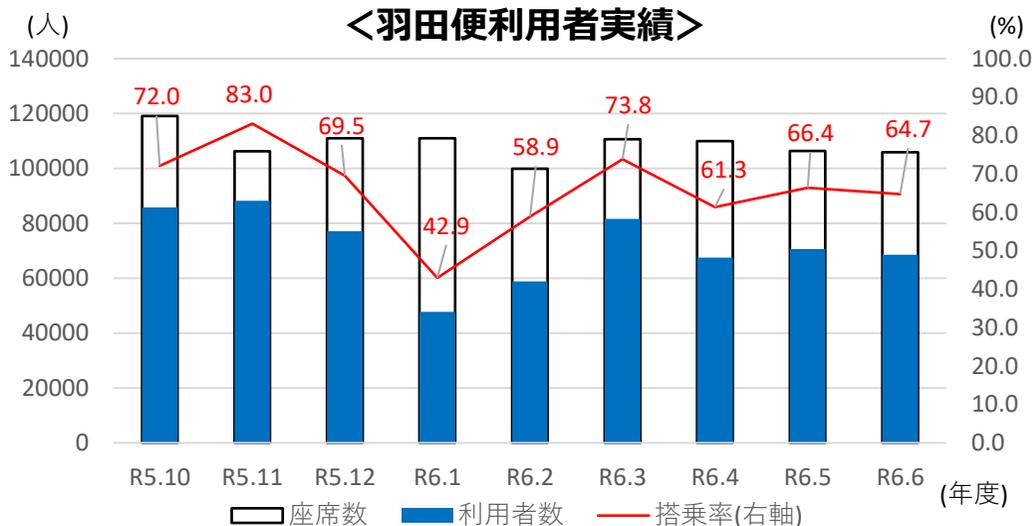


○利用状況について、本年4月の利用者数が約6万7千人と、前年同月比で4.1%の減少、5月の利用者数が約7万1千人と、前年同月比16.4%の減少、6月の利用者数が約6万9千人と、前年同月比で16.7%の減少となっている。

○利用者数の減少については、新幹線敦賀延伸の影響が一定程度あると考えられるが、大規模なタイムセールといった航空会社個別の事情や能登半島地震の影響など、様々な要因が影響しているものと考えられ、さらに利用状況を注視していく必要がある。



列車名	本数 (往復)	敦賀	越前たけふ	福井	芦原温泉	加賀温泉	小松	金沢	...	東京
かがやき	5	○		○				○		○
	2	○	○	○			○	○		○
	2	○		○	○	○	○	○		○
はくたか	5	○	○	○	○	○	○	○		○
停車回数 (往復)	14	14	7	14	7	7	7			



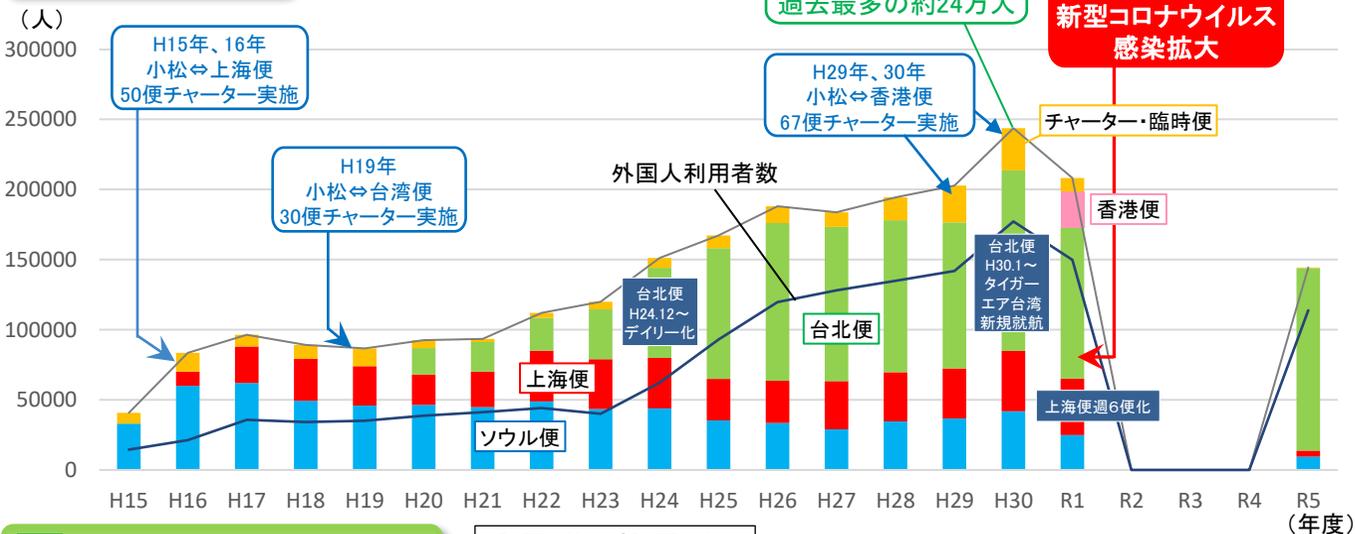
	R4年度		R5年度		R6年度	
	利用者数	搭乗率	利用者数	搭乗率	利用者数	搭乗率
4月	48,955	55.1%	70,277	66.5%	67,418	61.3%
5月	60,317	56.0%	84,373	76.5%	70,575	66.4%
6月	57,792	53.4%	82,327	77.7%	68,544	64.7%
7~12月	447,940	65.2%	488,078	71.7%	-	-
1月	56,846	51.5%	47,661	42.9%	-	-
2月	65,814	61.1%	58,782	58.9%	-	-
3月	90,537	76.3%	81,551	73.8%	-	-
3/1~15	40,381	70.2%	36,781	70.4%	-	-
3/16~31	50,156	82.1%	44,770	76.8%	-	-
年度計	828,201	62.4%	913,049	69.0%	-	-

2-4. 国際線利用実績



○国際線については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月以降全便運休となっていたが、令和5年4月よりエバー航空の台北便(デイリー)、7月よりタイガーエア台湾の台北便(週2便)、12月より中国東方航空の上海便(週2便)、大韓航空のソウル便(週3便)が運航を再開し、コロナ以前と同等の数値まで回復している。

1 利用状況



<国際線運航再開状況>

(R2.3~ ソウル便、上海便、台北便全便運休)

R5.4~ 台北便(エバー航空) 運航再開
※週5便 → 週7便(デイリー)

R5.7~ 台北便(タイガーエア台湾) 運航再開
※週2便 → 週2便(木・日)

R5.12~ 上海便(中国東方航空) 運航再開
※週6便 → 週2便(木・日)

R5.12~ 韓国便(大韓航空) 運航再開
※週3便 → 週3便(水・金・日)

2 路線別月別利用状況

台北便

※R5.4.1~ エバー航空 週7便で運航再開
※R5.7.2~ タイガーエア台湾 週2便で運航再開

上海便

※R5.12.17~ 中国東方航空 週2便で運航再開

ソウル便

※R5.12.28~ 大韓航空 週3便で運航再開

令和5年4月	7,681(52.7%)	令和5年12月	12,513(85.4%)
5月	8,242(72.2%)	令和6年 1月	11,318(79.2%)
6月	7,821(70.8%)	2月	11,761(84.5%)
7月	10,453(71.4%)	3月	11,852(80.9%)
8月	11,986(81.1%)	4月	13,631(74.0%)
9月	8,875(63.8%)	5月	12,174(83.1%)
10月	13,698(87.5%)	6月	11,728(82.1%)
11月	13,763(90.1%)	(平成30年度)	128,773(85.3%)

令和5年12月	1,017(72.3%)
令和6年 1月	868(45.6%)
2月	1,216(56.8%)
3月	1,419(66.2%)
4月	1,454(73.6%)
5月	1,369(61.8%)
6月	1,748(81.6%)
(平成30年度)	42,963(78.3%)

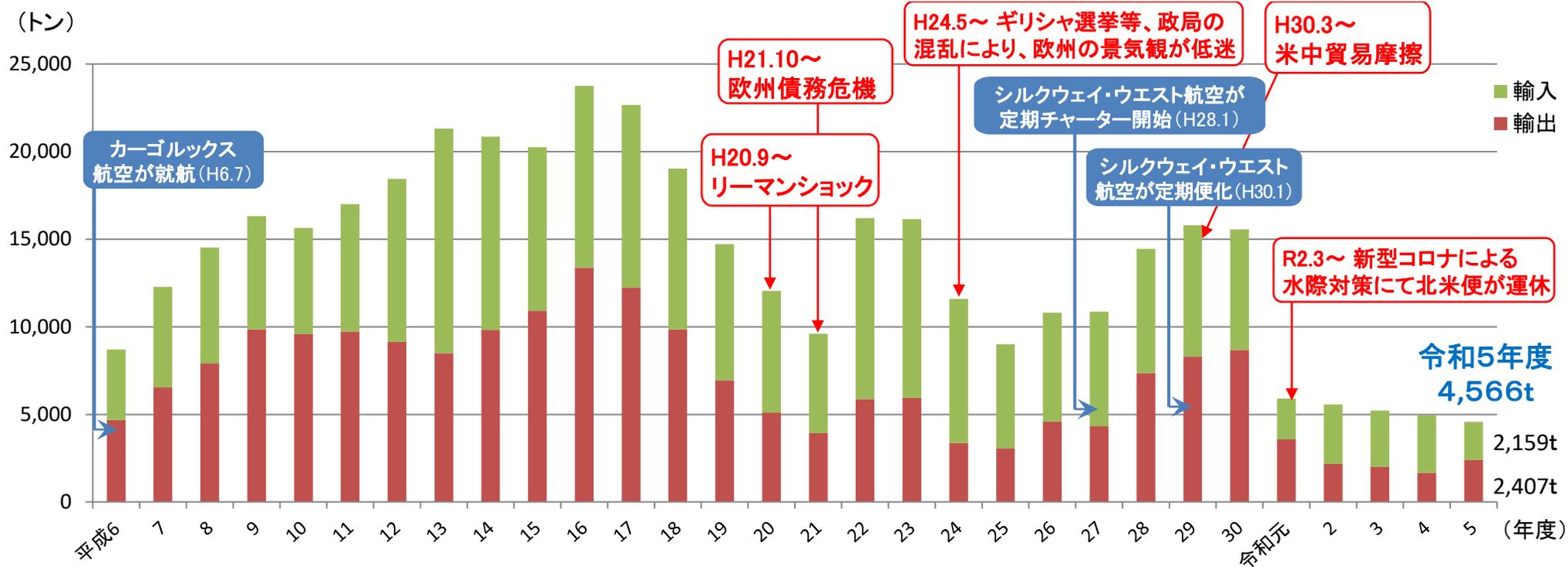
令和5年12月	580(83.8%)
令和6年 1月	2,064(45.7%)
2月	2,599(57.6%)
3月	4,121(85.8%)
4月	2,586(73.0%)
5月	3,144(72.1%)
6月	3,138(75.3%)
(平成30年度)	41,892(77.5%)

2-5. 国際貨物について



○米中貿易摩擦、シルクウェイ・ウエスト航空の運休及び新型コロナウイルス感染症の影響による北米便の運休等により取扱量が減少したが、令和5年3月29日から北米便(カーゴルクス航空)の運航が再開し、北米便週2便、欧州便週1便の合わせて週3便体制となり、令和5年12月からは北米便週3便体制(欧州便は成田へ振り替え)となった。

○令和5年度の取扱実績は、能登半島地震の影響により、1カ月程度の運休が生じたことなどから、前年度比マイナス7.6%の4,566トンとなった。



運航路線

カーゴルクス航空

ルクセンブルグ ~ 鄭州 ~ 小松 ~ アンカレッジ ~ シカゴ → ルクセンブルグ

水曜日	小松着	15:00	小松発	17:00
金曜日	小松着	16:05	小松発	18:05
土曜日	小松着	13:50	小松発	16:50



3. 令和6年度予算の概要

3-1. 航空の優位性を活かした国内線の利用促進について



令和6年度取組方針

<ビジネス利用強化>

新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ企業の航空利用を促進

<南加賀以西>

南加賀・福井地域への新規需要の喚起とPR強化による利用促進

<リピーター確保>

継続的に航空利用いただけるリピーターを囲い込み

<新幹線非競合>

新幹線と競合しない、航空優位性の高い地域への集中的な周知による乗継利用促進

観光とビジネス両面での利用促進と敦賀延伸後の航空利用確保を図る

令和6年度の主な取り組み

ビジネス利用強化、南加賀以西のPR強化

○ビジネス利用サポートキャンペーン 利用特典強化

期間限定で新たに初回利用特典を付与し、利用実績のない会員企業の利用を促進

(一度も利用実績がない企業：64%)



○南加賀・福井県向け空港情報発信 (ブース出展による航空PR強化)

南加賀、福井県のイベントや高速道路SAにブース出展する等、航空利用をPR



【参考:福井県内バスへの広告】

【参考:航空会社と連携したPR】※令和5年度実施

リピーター確保

○サポーターズクラブの利用促進

サポーターズクラブへの入会促進や会員を対象にした利用特典の付与を実施



【参考:ポケモンセンターとタイアップしたPR】
※令和5年度実施

新幹線非競合

【令和6年度事業費：90,600千円】

○東北、四国等航空優位性の高い地域と連携した羽田乗継の相互PR

【アウト】乗継旅行者によるSNS投稿キャンペーンの実施
乗継先と連携したPR動画の配信 等

【イン】青森県、愛媛県のイベントへのブース出展、現地メディア訪問PR等

○乗継旅行商品造成支援及び乗継キャンペーンの実施等



【参考:メディアやSNS等を活用したPR】※令和5年度実施

その他の利用促進

○首都圏、その他就航地(札幌、福岡、那覇)発旅行商品造成

○駐車場無料券付き地元発旅行商品の造成支援

○航空会社と連携した搭乗キャンペーン

○駐車料金低減

○空港アクセスの改善・充実 等

3-2. 国際線の利用促進について



令和6年度取組方針

<既存路線> 3路線の特徴に応じた利用促進策の実施

北陸新幹線敦賀延伸による空港の利用圏拡大を活かした広域からの利用の促進

台北便

従来より、観光インバウンドが多く、日本人アウトバウンドが少ない傾向
(コロナ前…外国人：日本人 = 8 : 2)

▶ **さらなる日本人アウトバウンドの利用促進**

ソウル便

従来より、社会情勢の影響を受けづらい
20~40代の日本人女性が利用を下支え
(コロナ前…外国人：日本人 = 5 : 5)

▶ **ツアー商品の造成支援に加え、航空券と宿泊のみの商品の造成支援にも注力**

上海便

利用者のメインはビジネス目的
中国国内や第3国への乗継利用の利便性が高い
(コロナ前…外国人：日本人 = 6 : 4)

▶ **当面、短期滞在ビザ免除措置の停止の影響を受けない、上海乗継の利用促進を図る**

<新規路線開拓> これまでの就航実績の有無に捕らわれない、新規路線開拓に向けた航空会社への誘致活動

北東・東南アジアからの入込を見ると、台湾・中国に次いで香港3番目、タイ4番目

※R1年度実績

香港便 (キャセイパシフィック航空)

H30チャーター：36本 (19,212人)

R1 定期便：25,464人 (搭乗率77.1%)

バンコク便 (タイ国際航空)

R1チャーター：4本 (870人)

定期便化にはチャーター便運航と高い実績(搭乗率)の積み上げが重要

⇒ **これまでの就航実績の有無に関わらず、香港・タイの航空会社等に対してセールスを実施**

※R5年度、小松空港国際化推進石川県議会議員連盟が航空会社本社 (香港：キャセイパシフィック航空、タイ：タイ国際航空、タイ・ベトジェットエア) を訪問

令和6年度の主な取り組み

台北便

- エバー航空と連携したイベントの開催
- 旅行商品の造成支援

ソウル便

- 旅行商品(航空券・宿泊)のオンライン販売促進
- ツアー商品の造成支援

上海便

- 小松・上海便就航20周年記念事業・旅行商品の造成支援

その他利用促進等

- 福井・長野での小松空港国際線周知活動、高校への修学旅行(国際線)周知
- 就航先の観光協会等と連携した修学旅行セミナーの開催
- バス新幹線活用広域アクセス助成、外国人団体の二次交通利用支援
- 外国語インフォメーション設置費用 等

新規路線開拓

- 小松空港国際線・新規路線開拓事業費
・航空会社等へのセールス費用 (タイ・香港)

【令和6年度事業費：55,800千円】

4. 今後の検討課題について

4-1. 今後の検討課題について



現状と課題

- 今後30年程度を見据えた小松空港のあり方を示す中期ビジョン策定を目的に、「小松空港中期ビジョン策定検討委員会」を設置。
- 新型コロナより一時休止。民間委託に係る資産調査の最終報告を受けたこと、北陸新幹線県内全線開業を見据え、R4.6に再開したが、第二滑走路が主な論点となり、第二滑走路に関して、先んじて結論を出すことになったことから、R5.4以降一時休止。
⇒これまでの開催実績 第1回(R2.2)、第2回(R4.6)、第3回(R4.11)、第4回(R5.4)
- R6.3.31知事会見において、第二滑走路の検討を一時中断し、今後は、エアターミナルビルの今後の在り方、小松空港の日本海側のハブ空港化について、早急に委員会を開催して議論いただく旨、発言。

【知事会見(抜粋)】

- 今後、「小松空港中期ビジョン策定検討委員会」では、足元の課題である、老朽化しているエアターミナルビルの今後の在り方等、小松空港の日本海側のハブ空港化について議論いただき、その議論を踏まえ、県としての対応を検討していきたい

今後の主な検討内容

- 老朽化の進む空港ターミナルビルの改築
- 空港運営におけるPPP/PFIの導入(コンセッション等)

上記2つの論点は関連

(例. 空港運営の民間委託を実施した場合は、その事業スキームにより、空港ビルや空港施設の改築等の実施主体、改築規模、施設配置等に影響すると考えられる)

5. ターミナルビルの現状と課題

5-1. 小松空港ターミナルビルの現況



小松空港ターミナルビルについて

区分	国内線	国際線
面積	15,438㎡	7,902㎡
構造	鉄骨造3階建（一部4階建）	鉄骨造2階建（一部3階建）
供用開始年月	昭和56年9月 (改修) 昭和58年、昭和61年、 平成元年、平成4・5年、 令和3・4年	昭和59年4月 (改修) 平成6・7年、平成25年

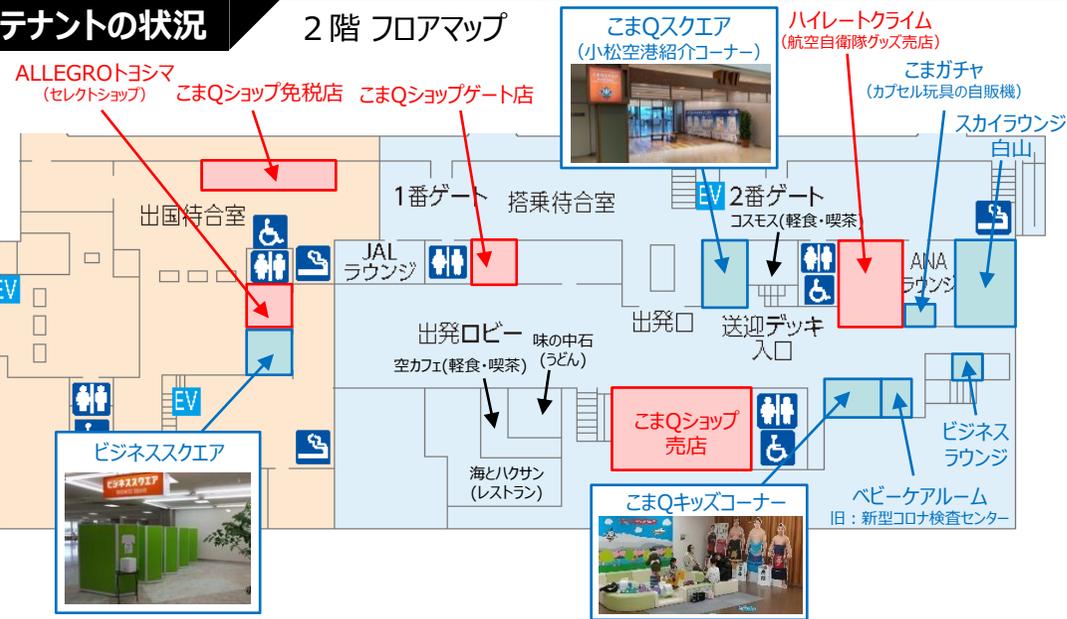


⇒ **建物は、供用開始から40年経過しており、将来的に更新が必要**

※直ちに更新する必要がある状況にはない

テナントの状況

2階フロアマップ



■現在のターミナルビルの課題

- ① 国による調査によれば、小松空港は、築年数のわりに総合満足度は高いものの、飲食や物販に関する満足度は低い傾向
- ② 国際線では、出発と到着が重なるタイミングで、ロビーの混雑が問題となっており、国際線のスペースを増やす必要

5-2. 小松空港に関するアンケート調査について



○中期ビジョンのとりまとめにあたり、利用者・県民が求める「ターミナルビルの機能」、「駐車場のあり方」、「航空路線」等について調査を行うため、アンケートを実施。

■ 調査期間

令和5年4月21日（金）～5月20日（土）

■ 調査対象

石川県内在住者、小松空港利用者

■ 回答方法

インターネット（アンケートは選択式(一部自由記載)）

■ 調査項目

- ①小松空港の利用状況に関する項目
（利用目的、利用頻度、交通手段 等）
- ②空港旅客ターミナルビルに関する項目
（今後の空港旅客ターミナルビルに期待すること）
- ③駐車場に関する項目
（駐車場の施設や機能に求めること）
- ④小松空港の航空ネットワークに関する項目
（今後開設してほしい路線、既存路線について）
- ⑤その他（自由記載）

小松空港利用者アンケート ご意見募集中

回答時間 1分程度

小松空港が将来に向けて日本海側の拠点空港として発展していくために、石川県では、今後30年程度先を見据えた空港のあり方を示す中期ビジョンの策定に取り組んでいます。

魅力的な空港となるよう、皆様のご意見をお寄せ下さい！

期間： 令和5年4月21日(金)～5月20日(土)
対象： 石川県内在住者、小松空港利用者
回答： 右のQRコードを読み取り、又はキーワード検索
いただき、ご回答ください

アンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で10名様に「能登生」をプレゼント！

小松空港 利用者アンケート

小松空港中期ビジョンについて
小松空港 中期ビジョン

【問合せ先】 小松空港協議会（石川県企画振興部空港企画課内） TEL:076-225-1337

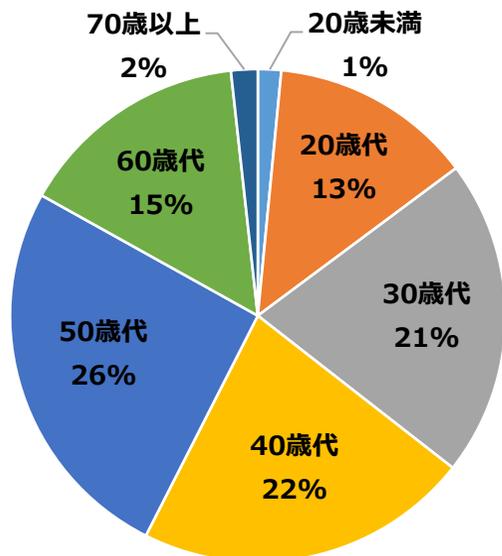
5-3. 小松空港 アンケート調査結果



■実施時期：令和5年4月21日（金）～5月20日（土） ※WEBアンケートを実施
 ■回答数：1,380件【内訳】男性649件(47.0%)、女性720件(52.2%)、無回答11件

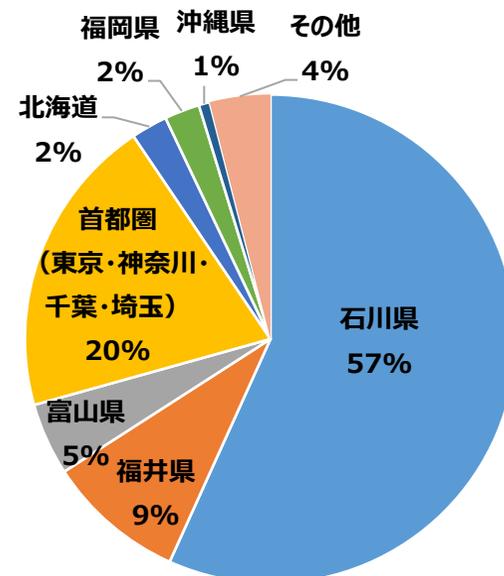
年齢層

20～40代
半数以上



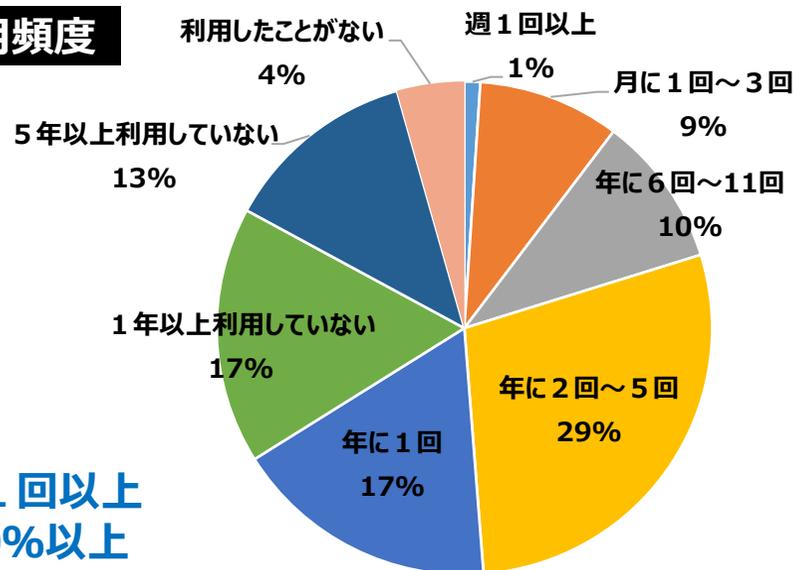
居住地

北陸3県
7割弱
首都圏
2割



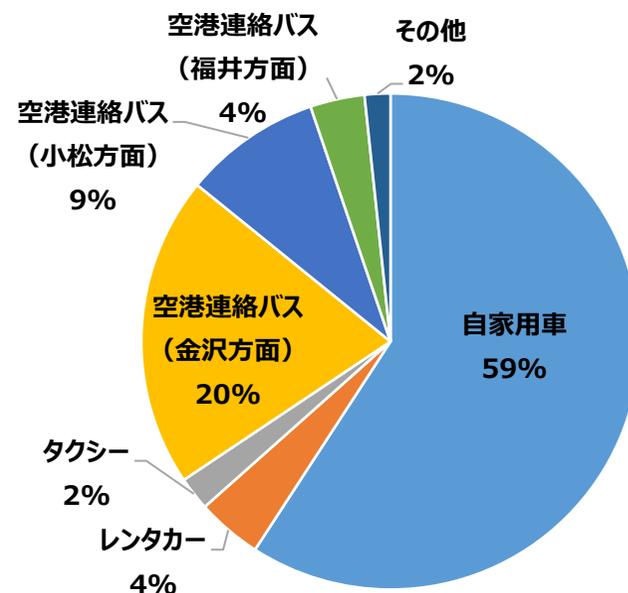
利用頻度

年1回以上
60%以上



主な交通手段

自家用車
6割
空港連絡バス
3割弱

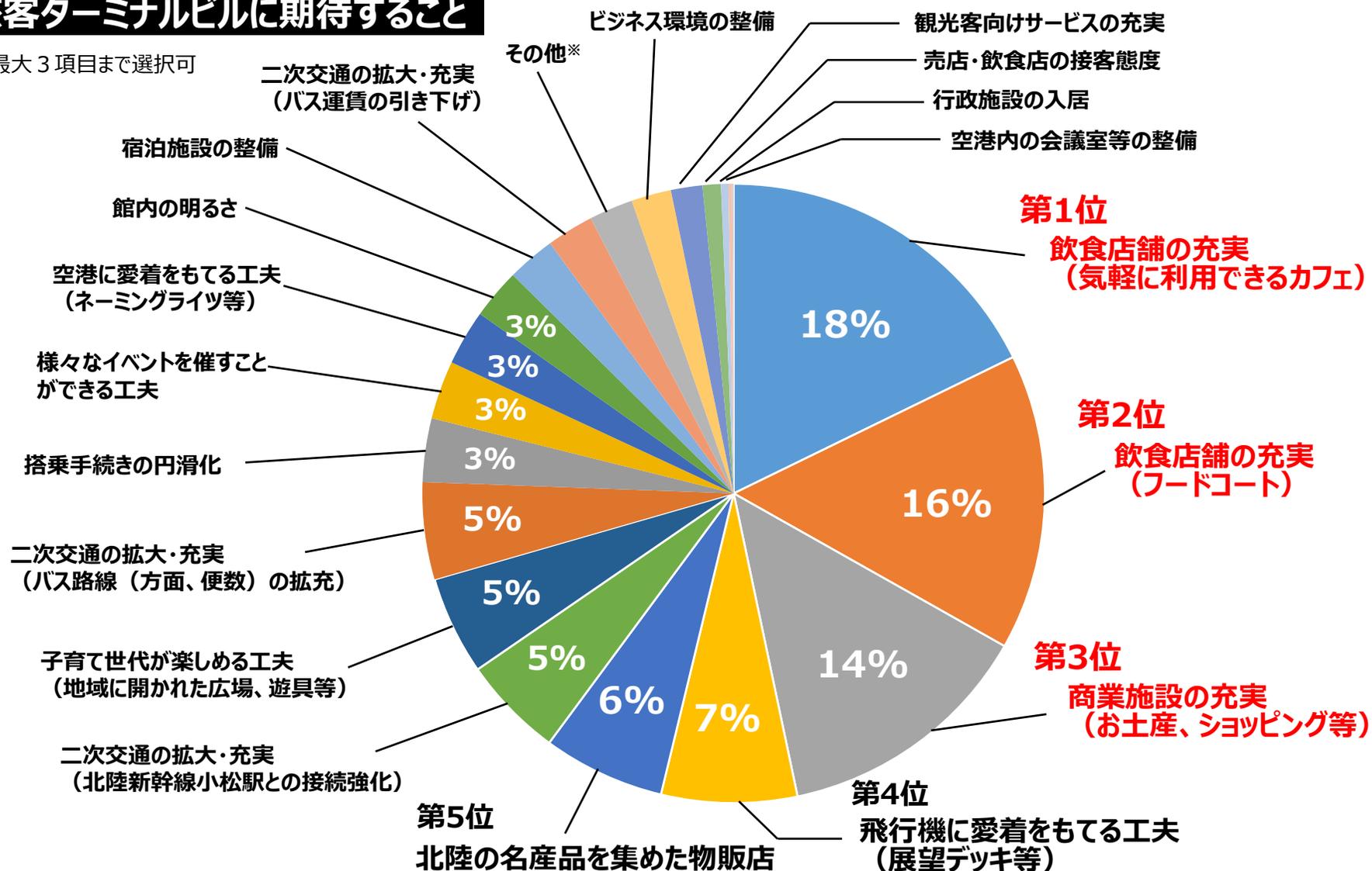


5-4. 小松空港 アンケート調査結果



空港旅客ターミナルビルに期待すること

※回答は、最大3項目まで選択可



<その他の意見>

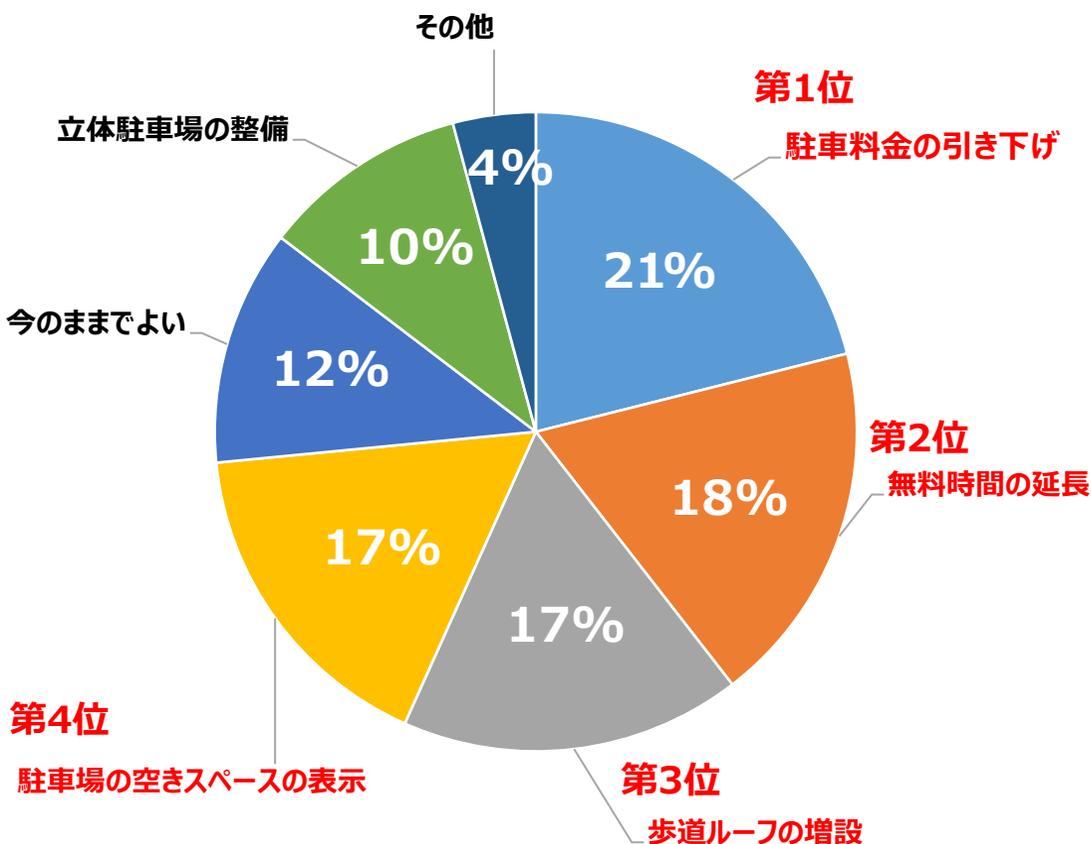
コンビニの新設 (多くの意見あり)、無料駐車場の整備、建造物としての魅力、充電環境の改善、就航先の新設・増便、ラウンジの充実、店舗の営業時間拡大、プライオリティパスの利用環境改善、足湯 (入浴施設) の設置 等

5-5. 小松空港 アンケート調査結果



駐車場の施設や機能に期待すること

※回答は、最大2項目まで選択可



その他の主な意見

- 駐車場について
 - ・通常の週末にも関わらず、国内線駐車場はあまり余裕がないため、駐車場容量を拡大して欲しい
 - ・GW等の繁忙期には臨時駐車場を設けて欲しい
 - ・駐車位置を記憶しやすいように、場内を色分けをして欲しい
 - ・駐車場から出る時間が重なり、毎回ゲートが混雑するため、精算ゲートを増加して欲しい
 - ・通路と駐車スペースの区分をわかりやすくして欲しい
 - ・障害者の利用に配慮した施設と価格設定にして欲しい
 - ・リアルタイムな混雑状況をスマホ等で確認出来るようにして欲しい
 - ・電気自動車用の充電設備が欲しい など
- 駐車場の動線について
 - ・雪・雨への対応をして欲しい
 - ・駐車場からターミナルまでのバリアフリー化をして欲しい など
- 駐車料金の支払いについて
 - ・精算機が混雑するので台数を増やして欲しい
 - ・キャッシュレス化を進めて欲しい など

5-6. 小松空港 アンケート調査結果



(参考) 航空ネットワークについて期待すること

<国内路線内訳>

(拠点空港) … 94人 (22%)

- ・成田空港 … 53人 (12%)
- ・関西国際空港
- ・中部国際空港

(北海道方面) … 21人 (5%)

- ・旭川空港 ・女満別空港
- ・函館空港 ・帯広空港 ・釧路空港

(東北方面) … 119人 (27%)

- ・仙台空港 … 73人 (17%)
- ・青森空港 ・花巻空港
- ・秋田空港 ・福島空港 ・山形空港

(関西方面) … 26人 (6%)

- ・大阪(伊丹)空港 ・神戸空港

(中国方面) … 35人 (8%)

- ・広島空港 ・岡山空港
- ・鳥取空港 ・出雲空港

(四国方面) … 44人 (10%)

- ・高知空港 ・松山空港 ・高松空港

(九州方面) … 70人 (16%)

- ・鹿児島空港 … 25人 (6%)
- ・佐賀空港 ・北九州空港
- ・宮崎空港 ・長崎空港
- ・熊本空港 ・大分空港

(その他) … 25人 (6%)

- ・茨城空港 ・新潟空港
- ・静岡空港 ・能登空港
- ・宮古空港 ・新石垣空港

その他
3%

今のままでよい
19%

乗継割引の拡充
33%

直航便を
開設して欲しい
23%

既存路線の
利便性向上
23%

<海外路線内訳>

(海外路線) … 103人

タイ (バンコク) … 25人 (25%)

ハワイ … 15人 (15%)

シンガポール、ベトナム、オーストラリア、
 Guam、ヨーロッパ、釜山、大連、北京、
 マレーシア、フィリピン 等

<その他の主な意見>

- LCCの導入 ※多数の意見
- 運賃の低廉化
- マイルキャンペーンの導入
(どこかにマイル (JAL) 等)

○便数増加 … 272人 (52%)

- ・小松-羽田 … 52人 (10%)
- ・小松-新千歳 … 52人 (10%)
- ・小松-那覇 … 39人 (7%)
- ・小松-福岡 … 30人 (6%)

○発着時間変更 … 128人 (24%)

- ・小松-那覇 … 47人 (9%)
- ・小松-台北 … 22人 (4%)

○国際線復便 … 103人 (20%)

- ・ソウル便 … 70人 (13%)
- ・香港便 … 18人 (3%)
- ・上海便 … 15人 (3%)

○機材変更 … 14人 (3%)

羽田 (機材大型化)、福岡 (ジェット機)

○ダブルトラック化 … 9人 (2%)

主なご意見（自由記載）

- 保安検査場を抜けた後、時間を潰すところが少なすぎます。もう少し飲食店やお土産屋を増やして欲しい。空港内にコンビニエンスストアがないため、困っています。（30代女性）
- 釧路空港のように、国内線出発口，2FこまQショップゲート店の間のスペースをガラス張りにして，搭乗者の見送りができたらいいと思います。（20代男性）
- 展望エリアを芝生(人工芝でも)にして、子供が遊べるようにしたり、ヨガのイベント等を開催して、テナントの飲食店の利用を促進するのはいかがでしょうか。（40代男性）
- 外観の緑化と、山の位置・名称などの表記があると待ち時間に会話するきっかけが出来て良いと思う。（70歳以上）
- ビルを建て替えるのであれば、地域の賑わい拠点となるよう、また、小松アリーナ構想も注視しながら、検討を進めて欲しい。（30代女性）
- 特に、朝の時間帯など、閉まっている店舗が多くて賑わいがないため、さびれた空港のように感じる。利用者目線でサービス提供のあり方を検討して欲しい。（30代女性）
- 飛行機が大好きな一歳の息子。子供が飛行機にふれあえる場所があるとなお嬉しいです。（30代女性）
- シャッターが降りてる箇所もあり閑散としての印象があります。利用客だけでなく、地元住民からも来場者が見込めるテナントが必要ではないでしょうか。（30代男性他）
- 地元の手土産が充実するとありがたい。マンネリ化を防ぐため、何ヶ月かの交代制だと、違う物が手に入るので、なお良いかもしれない。（50代女性）
- 必要な人はどんな施設だろうが絶対来るわけで、それ以外の人があるような色んなイベントとか、バズりそうな流行りの店とかがあるといいですね。（20代女性）
- 空港施設全般的に他の空港に比べてバリアフリー化が低いと感じます。色々な年代に利用しやすい楽しい空港を希望します。（40代女性）

6. 空港運営におけるPPP/PFIの導入 (コンセッション等)

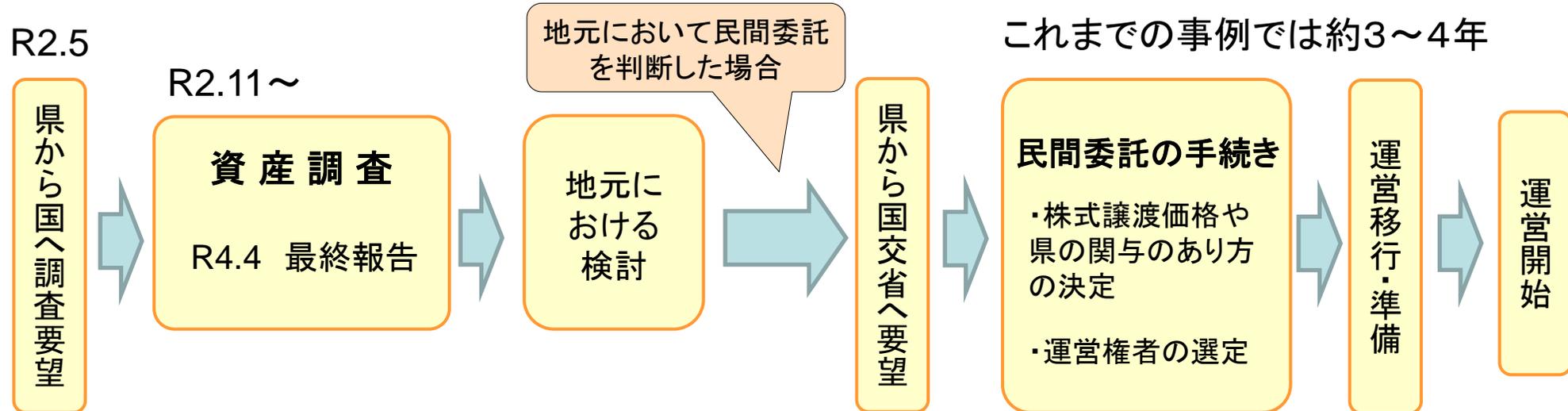
6-1. 空港運営の民間委託に関する検討状況(再掲)

- 空港運営の民間委託（コンセッション）とは、施設の所有権を国に残したまま、施設の運営権を民間事業者に設定すること。
- 空港コンセッションにおいては、第三セクター等によって経営されている空港ビル会社の株式を取得し、航空系事業（空港施設）と非航空系事業（空港ビル・駐車場）を一体経営することを基本方針として定めている。

<小松空港における資産調査の経緯>

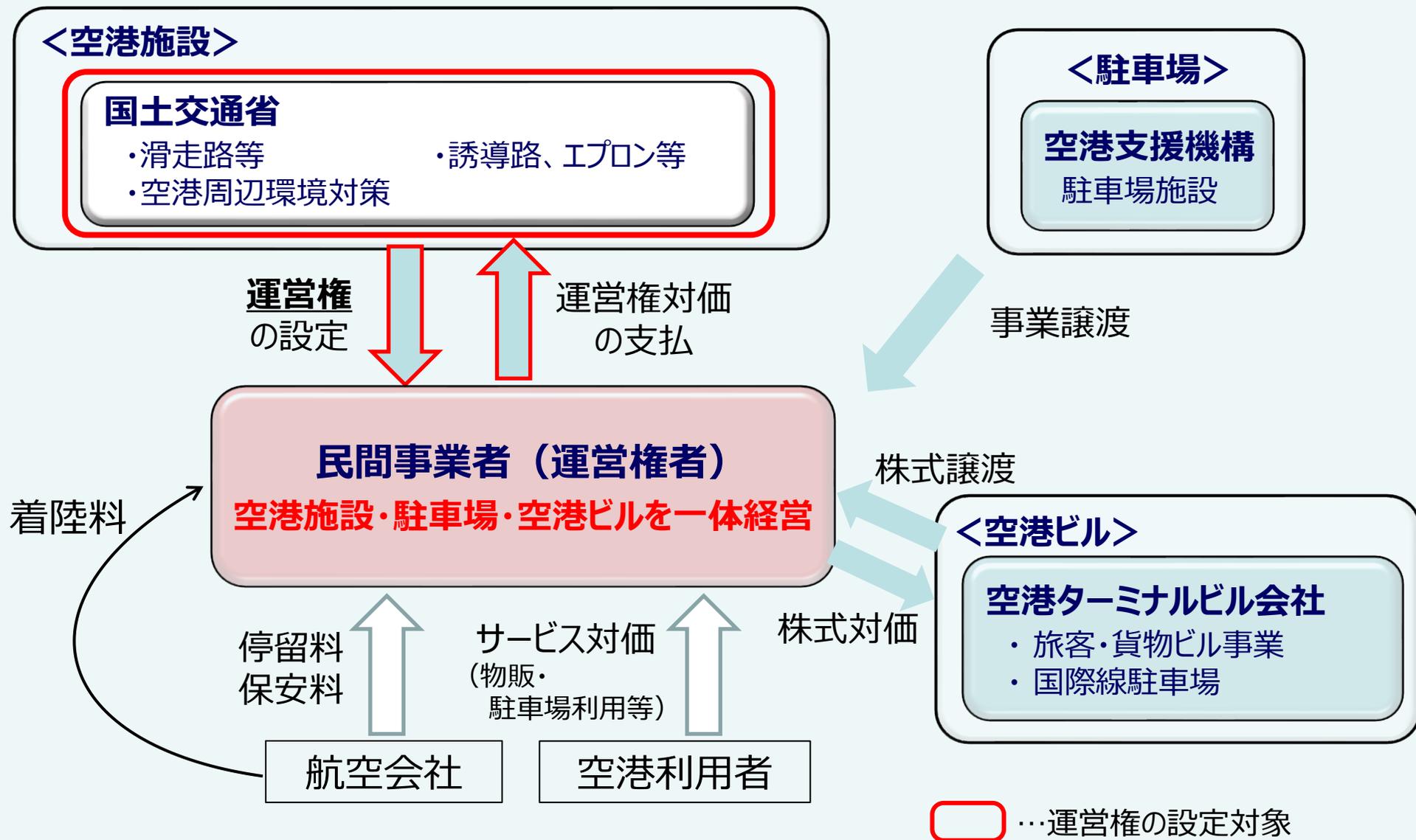
- ・令和2年 5月 資産調査要望書を国交省へ提出
- ・令和2年1 1月 資産調査開始
- ・令和3年1 0～1 1月 民間ヒアリングの実施
- ・令和4年 4月 国交省より資産調査最終報告を受領

<国による資産調査から民間委託までの流れ>



6-2. 空港運営の民間委託に関する検討状況

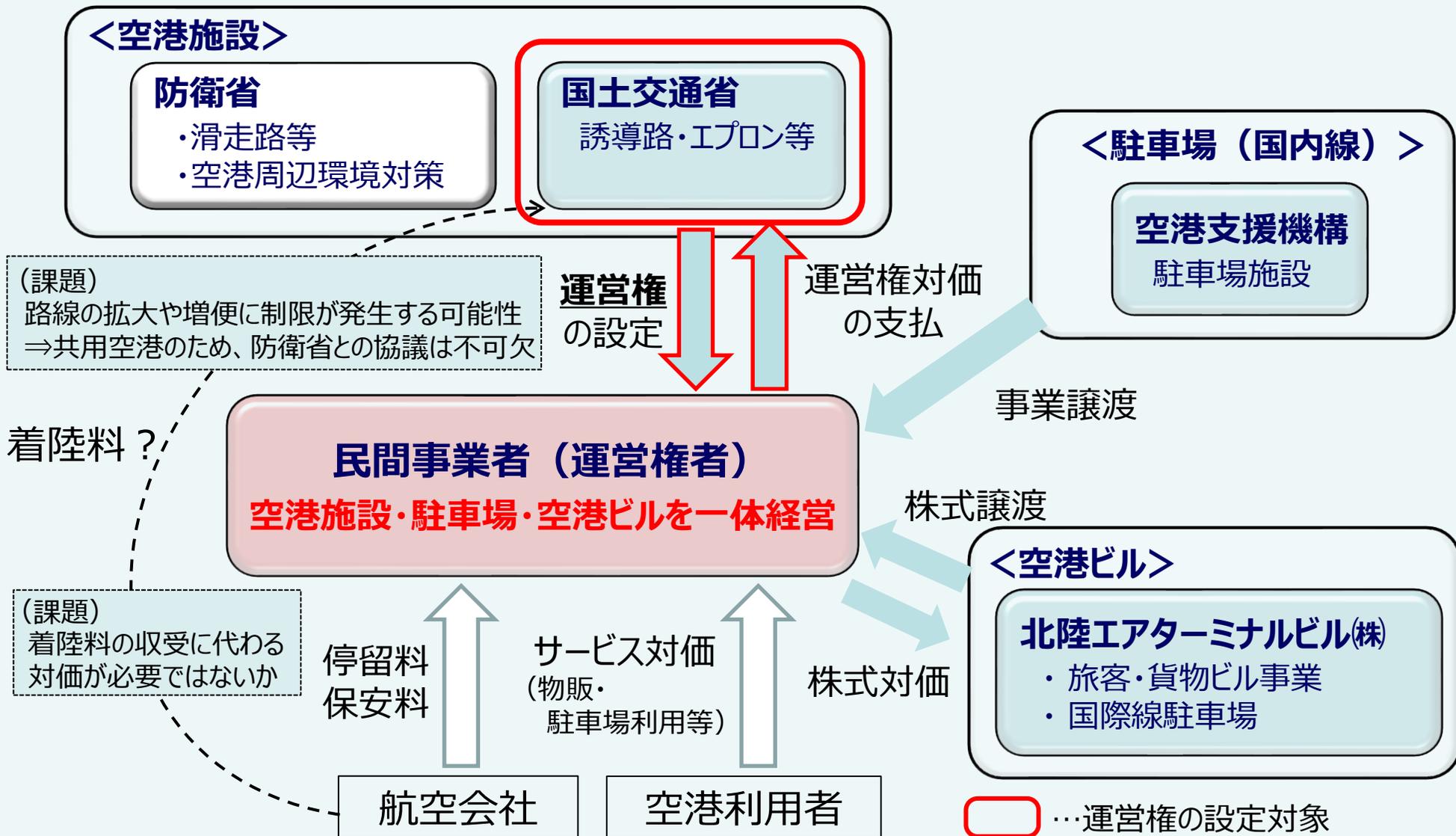
(通常のコンセッションスキームの場合)



6-2. 空港運営の民間委託に関する検討状況



(共用空港で想定されるスキームと主な課題)



7. 今後の検討スケジュール

7-1. 今後の検討スケジュール(案)



(令和6年7月24日)

第5回検討委員会 (再開にあたっての現状共有等)

- 第二滑走路に係る方針 (知事会見内容等を踏まえて)
- 最近の小松空港の情勢 (新幹線延伸後の利用状況等)
- 令和6年度予算概要
- ターミナルビルの現状と課題
- 今後の検討課題について

(10~11月頃)

第6回検討委員会 (小松空港活性化策、ターミナルビル、空港運営の民間委託等)

- これまでの議論を踏まえた小松空港の活性化策 (国内線、国際線等)
- ターミナルビルに求める機能等について
- ターミナルビルの改築・増築等に関する課題等の整理
- ターミナルビルの改築等と空港運営の民間委託(コンセッション)等との関係
- 空港運営の民間委託に係るこれまでの検討経緯と課題、他空港の事例
- 今後のスケジュール 等

(12~1月頃)

第7回検討委員会 (中期ビジョンとりまとめ)